

採用施設一覧 (◎は基幹施設、○は連携施設)

◎広尾病院
◎墨東病院

◎多摩総合医療センター

○多摩北部医療センター

○小児総合医療センター

研修プログラムの特徴

● 広尾病院 (基幹施設)

東京都立広尾病院 救急科 東京医師アカデミー専門研修プログラム

プログラム責任者：救命救急センター 中島 幹男 プログラム研修期間：3年
 連携施設病院：杏林大学医学部付属病院 / 大分県立病院 / 鹿児島県立大島病院 / 東京都済生会中央病院 /
 東邦大学医療センター大森病院 / 島しょ等

基幹研修施設の都立広尾病院は、都市部の救命救急センターであり、3次救急・集中治療だけでなく、島しょ医療、災害医療、東京ER、ドクターカーなどにも力を入れています。3次救急は単なる振り分けではなく、各診療科と協力しつつ可能な限り自己完結を基本としています。入院管理はICUから一般病棟まで、多発外傷、ショック、呼吸不全、敗血症、薬物中毒、熱傷など多岐にわたります。島しょ医療、伊豆諸島・小笠原諸島から年間200件を超えるヘリコプター・航空機搬送に対応しています。また島しょ医療機関との画像伝送ネットワークによる診断補助や医師派遣なども行っています。災害医療は東京23区唯一の広域基幹災害拠点病院として、各種災害対策訓練を行っています。東京DMATとしての都内出勤もあります。東京ERの一つとして1・2次救急にも力を入れており、日中は総合診療的なwalk-in患者から3次救急まで全てに対応しています。ドクターカーによりプレホスピタルの医療も学ぶことができます。さらに豊富な研究業績があり、やる気があれば臨床研究も実施可能です。本プログラムを通して、3次救急だけの研修ではなく、1・2次救急や一般病棟管理、ドクターカーによるプレホスピタル活動、島しょ医療への関わり、災害研修、などで総合診療能力を養いつつ、島しょ医療機関のような医療資源の限られた環境でも役に立てる救急医の養成を目標にしています。プログラムについてはニーズに応じて柔軟な対応が可能です。

研修コース
モデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	救急・集中治療											
2年次	救急・集中治療、災害医療、プレホスピタル、地域医療、関連施設研修 (杏林大学医学部付属病院高度救命救急センターなど)											
3年次	選択研修 (島しょ医療機関も可能)						救急診療・集中治療					

● 墨東病院 (基幹施設)

都立墨東病院救急科東京医師アカデミー専門研修プログラム

プログラム責任者：救命救急センター 杉山 和宏 プログラム研修期間：3年
 連携施設病院：小児総合
 東京大学医学部付属病院 / 東京ベイ・浦安市川医療センター / 前橋赤十字病院 / 島根県立中央病院 /
 海老名総合病院 / 島しょ等

救急医には、目前の患者の緊急度と重症度を判断し即座に対応する「緊急性」、疾病・外傷などの原因や罹患・損傷臓器の種類を問わず対応する「多様性」、加えて、様々な背景の患者の診療に対応する「社会性」が求められます。これらをたゆまず確実に実践していくことが、救急医療を支えていくための礎となる救急科専門医のモットー (すずむべき道・信条) です。墨東病院はERと独立型の高度救命センターを有し、walk-in患者から生命の危機が切迫した患者まで、幅広い救急診療に携わることができ、救急医の研修に適した環境にあります。また、集中治療科での研修を合わせて行うことができ、重症患者のICU管理を深く学ぶことができます。当プログラムでは、都内有数の症例数を

誇る当院での研修を中心に、東京大学附属病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、前橋赤十字病院、島根県立中央病院、小児総合医療センターといった多彩な連携施設にご協力いただき、救急医としての視野を広げることができます。また、研修を通して区東部医療圏の救急医療体制、特に救急搬送（プレホスピタル）と医療機関との連携の維持・発展、災害時の対応にも関与し、地域全体の安全を維持する仕事も学びます。日常の診療の他に学術的な活動も重視し、積極的に学会発表、論文発表を行っております。我々とともに地域の救急医療の更なる発展を目指して研修いただける方をお待ちしています。

研修コースモデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	救命救急センター			ER			ICU			他科ローテーション		
2年次	連携施設			連携施設			救命救急センター/ER					
3年次	連携施設			救命センター/ER								

○ 墨東病院で研修可能なサブスペシャリティ領域

新専門医制度
集中治療

プログラム責任者：集中治療科 牧野 淳 プログラム研修期間：2年

当プログラムは、米国で総合内科・感染症・集中治療を学んだ医師が中心となり、豊富な内科的知識をバックグラウンドに多職種連携による強みを活かしつつセミクローズドスタイルでICU8床とHCU20床の重症管理を実践している国内でも数少ない施設です。術後全身管理や院内急変管理を始め、院内急変迅速対応や人工呼吸器回診、院内重症管理セミナー、ACPへの取り組みなどの組織横断的な活動も積極的に行っています。研修では、1. 高度医療の安全な提供、2. 患者ニーズに応じた医療の提供、3. 教育・経営における病院貢献、を目標に研修を行います。研修修了時に、集中治療専門医として必要な知識・技術の習得だけでなく、後輩医師やコメディカルを育成できるシステムの構築、病院経営を意識したICU運営ができるような自立した医師を育成することが目標です。

● 多摩総合医療センター（基幹施設）

東京都立多摩総合医療センター施設群救急科東京医師アカデミー専門研修プログラム

プログラム責任者：救急科 清水 敬樹 プログラム研修期間：3年

連携施設病院：多摩北/小児総合

旭川医科大学（北海道）/ 八戸市立病院（青森県）/ 秋田赤十字病院（秋田県）/ 東北医科薬科大学病院（宮城県）/
 埼玉医科大学総合医療センター（埼玉県）/ 埼玉県済生会加須病院（埼玉県）/ 昭和大学病院（東京都）/
 千葉大学病院（千葉県）/ NTT 東日本関東病院（東京都）/ 日本赤十字社医療センター（東京都）/
 帝京大学病院（東京都）/ 東海大学医学部附属八王子病院（東京都）/ 聖マリアンナ医科大学病院（神奈川県）/
 海老名総合病院（神奈川県）/ 湘南鎌倉総合病院（神奈川県）/ 相澤病院（長野県）/ 佐久総合病院（長野県）/
 産業医科大学病院（福岡県）/ 浦添総合病院（沖縄県）

【幅広い診療】

当プログラムは、多摩総合医療センターを基幹施設として、上記の連携施設と連携し救急科専門医を養成するプログラムです。当院では、心肺停止、内因性救急疾患、多発外傷、中毒、広範囲熱傷、ドクターカー、ドクターヘリ、神経集中治療、母体救命、精神科救急、災害医療など幅広い診療が特徴です。初療室から入室した重症患者を主科として管理し、速やかに集中治療管理に移行させ、迅速かつ質の高い集中治療管理を行っています。診療の向上・維持・教育を目的に毎日重症患者のケースプレゼンテーションを若手医師が中心になってじっくりと行います。救急・集中治療に関するエビデンスに基づいた知識を経験が豊富なスタッフからフィードバックを受けることが可能です。我々が重要視していることとして「チーム医療」があります。多職種間と協調性を持ちながら最善の医療を提供できる救急科専攻医の養成を目指します。また、救急科専門医の取得後のサブスペシャリティを探る3年間となるように

院内だけでなく、院外研修など様々な機会を提供します。

【ECMO】

当院は、重症呼吸不全に対する体外循環装置を使用した VV-ECMO に関して、世界基準での管理を確立しています。他院で ECMO を導入し ECMO カーで当院に搬送する primary transport も積極的に行っており、実際の経験やシミュレーション教育を通じて本邦で最高レベルの ECMO 研修が可能です。

研修コース モデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	救急、集中治療 救急医、集中治療医の基礎を、臨床経験を軸に学びます。											
2 年次	救急、集中治療、病院前診療 1 年次の経験を基にさらに臨床能力を高め、また主にドクターカーによる病院前診療の研修を開始します。											
3 年次	連携施設						救急、集中治療、病院前診療 2 年次、もしくは 3 年次に合計 6 か月間の院内もしくは院外研修が可能です。6 か月を超えた研修に関しては要相談です。					

○ 多摩総合医療センターで研修可能なサブスペシャリティ領域

新専門医制度 集中治療

プログラム責任者：救命救急センター 清水 敬樹 プログラム研修期間：2 年

本プログラムは集中治療専門医制度に則った研修の提供を目的とする。当院を基幹施設として専門性や特徴が異なる複数の連携施設での研修により、病態・診断・治療、さらには集中治療領域では必須である多職種連携・チーム医療の重要性も含めて、他の診療科から頼りになる集中治療専門医の育成を目指す。

【多摩総合医療センター（基幹施設）】 初療後、主科として速やかに集中治療に移行する。多発外傷、心肺停止蘇生後、心不全、痙攣重積、急性薬物中毒、広範囲熱傷、急性腹症術後、重症呼吸不全への呼吸 ECMO など

【東京女子医科大学（連携施設）】 心臓血管外科術後、循環器集中治療など

【TMG あさか医療センター（連携施設）】 我が国最高峰の神経集中治療の真髄を研修する

【都立小児総合医療センター（連携施設）】 新生児、小児の集中治療の研鑽を図る



(医師アカデミー 災害医療研修風景)



(医師アカデミー 感染症対応能力向上研修風景)